

(株)豊田自動織機様 ありがとうございました

11月10日(日)(株)豊田自動織機 東知多工場会 社会貢献グループ東知多工場EX会10名がりんりんのボランティア作業をしてくださいました。(株)豊田自動織機 東知多工場会のみなさんのボランティアは、もう2年目で4回にもなります。

この日はあいにく雨になり、外での作業が出来なくなったため、窓ガラスや普段手の届かないような所を中心に清掃していただきました。事務所・りんごクラブ・りんりん茶屋など、特に事務所玄関のガラスや網戸・2階の窓なども、大変綺麗になりました。作業のあとは、日曜料理グループの作った豚汁を食べていただきました。



No.58

平成26年(2014) 1月

発行/特定非営利活動法人 りんりん
半田市岩滑高山町5丁目4番地
TEL(0569)21-3646 FAX(0569)32-6623
http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

ありがとうございます
皆さまのあたたかいご支援がりんりんを支えています。

ご寄付ありがとうございます

榊原 律子 水野 陽子 (敬称略)

平成25年度賛助会員

榊原 和子 新美 信恵 (敬称略)

ご寄付ありがとうございました
東海労働金庫 半田支店様

初春や
笑顔の会話
元気な声で
びんこう

大晦日
静かな夜半に
鐘ひびく
ひろあき



～ヘルパー研修会～

10月	税について知ろう「所得税・年金収入控除」	42名
11月	災害時の対応について	56名
12月	精神障がいへの理解と支援	40名

多世代交流事業

	10月	11月	12月
絵手紙	15名	18名	19名
さをり織り	34名	48名	37名
生き活きサロン	190名	145名	149名
小物づくり	10名	12名	休み

(延べ利用人数)

会員数

協力会員	利用会員	賛助会員	合計
119名	59名	46名	224名

(H25/12月末現在)

特定非営利活動法人 りんりん



～ソンミサン・マウルを訪問して～

新年あけましておめでとうございます。

今年の5月でりんりんは誕生して満20年、干支の午にあやかっって軽快に進んでいきたいと考えています。

昨年末、サポートちた主催の韓国ソンミサン・マウル視察研修に参加しました。

ソウル市^{マッポ}麻浦区に位置する標高60m余りの小山を取りまく地域にあり、住民が必要なものを自ら手を挙げ、資金を出し、運営までしていくまち。

共同保育を協同組合という方式で運営したことから始まって、生活協同組合、コミュニティ・カフェ、コミュニティ・レストランなど、必要なものを次々と起業していく。またソンミサン学校は、12年制のフリースクールで1クラス16人。週に1回子供たちがまちの独居老人のために夕食を作り、一緒に食べるという取り組みをしている。親が迎えに来るまで、安全な材料で作られた飲み物を飲みながら、安心して待つていられるコミュニティ・カフェや、絵本でいっぱいのかわいい本屋さん、ソンミサン・マウルのやさしさの象徴に思えました。

りんりんが大切にしている「0才から100才までだれもが暮らしやすいまちづくり」と目指すものは同じだが、思いを実現させる住民のぶれない強さと、自分たちのことだという問題意識の高さを感じました。話をして下さったのは^{チェ・キョンスク}崔旻淑さんで、韓国がこれから迎える超高齢社会に向け、療養保護士への偏見を無くし、労働改善を国の施策として進めていこうとするリーダー。その^{チェ・キョンスク}崔旻淑さんから「ソンミサン・マウルの住民は、自分たちのまちに誇りを持っていますよ」と聞いて、私たちもそうありたいと、気持ちを新たに視察でした。

本年もりんりんがまた一步成長できますように、皆様のお力添えをよろしく願いいたします。 代表 下村 裕子

※1 日本では介護福祉士 ※2 韓国では家庭介護が普通



ソンミサン学校の教室



視察研修 参加者

～哀悼 りんりん顧問 高木 宏様～

今までりんりんの監事としてりんりんをご指導下さった高木宏様が、11月21日急逝されました。

全く突然の訃報に、関係者一同信じられないご逝去でした。25年度からは、顧問として支えてくださっていたので、一層深い悲しみにつつまれました。

長年のご支援に感謝し、心よりお悔やみ申し上げます。

結成してまだ 半年ちょっと 「やなべお助け隊」

“やなべお助け隊”は、平成25年4月7日に産声を上げたボランティアグループで、構成員は、岩滑地区に居住する者及び岩滑地区と関連のある団体の職員、となっています。

主な事業は、下記の通り。

- (1) 住民が健康上の理由で自らが作業できない軽作業の応援
- (2) 住民からの困りごとの相談
- (3) 岩滑区及び半田市の福祉団体等から要請があった事業への協力
- (4) 隊員の研修、親睦及び助け合い活動、その他。

隊員は現在、男33名、女4名、合計37名を数える。

12月2日、りんりん茶屋に集まって下さった“やなべお助け隊”の主要メンバーは10名で、お助け隊の平均年齢は？とお訊ねすると、「そうだなあ、70か、いや68くらいかな」というお答えでした。どのお顔もそれなりに年輪を感じさせるが、健康状態は上々。自己紹介を聞くうち、何人かのメンバーはいわゆる「Uターン」組と知る。もと岩滑に住んでいた方、岩滑に住んでいたものの他地区へ永年勤務していた方などです。もともとは他地区に居て、岩滑へ転入された方もある。このことから、岩滑は「懐が深く、あたたかい」地区であろうと思われま。

この気質を持ち、時間の余裕をもつ人たちの中から“やなべお助け隊”が生まれたのは当然の帰結なのかも。メンバーの一人は「わたしたちお助け隊の活動を、半田市、そして全国へ発信していきたい」と意気盛んなところを披露された。一つ心配なのは、活動を続けるための後継者が不足していること、と異口同音に言われる。地区で活動されている姿を見る人たちの間から、後継者になろうとする気風が生まれるのを信じてやまない。

セカンドライフウィーク 11/25 ~12/9

～りんりん企画～第二の人生をみんなで楽しく～

12月2日、“やなべお助け隊”と“サロンごえん”の交流会がありました。“やなべお助け隊”から男性10名、“サロンごえん”からは女性9名、総勢19名がりんりん茶屋に集い、初顔合わせをしました。

時間はちょうどお昼どき、テーブルには“サロンごえん”の女性たちが朝早くから愛情を込めて作ったお料理が並びます。メニューは押し寿司・いなり寿司・ごまあえ・お吸い物と、ごちそうです。

「うん、美味しい!」「押し寿司か、懐かしいなあ」そんな会話で食事がすすみお腹も満たされたところで、なごやかに全員が自己紹介をしました。大勢の仲間たちと活躍の場をもたれているからでしょうか、女性も男性も活きいきと話されます。食後のコーヒーを飲みながら、さらに話がはずみます。その話の中かりんごクラブの子どもたちと一緒に、“お助け隊”と“サロンごえん”が協力して薪を使った食事作りをすることが決まりました。



押し寿司づくり



やなべお助け隊の皆さん

デイサービスやなべ

看護師として働かせていただいております。生まれも育ちも半田市板山で、両親と娘2人と犬・猫とにぎやかな毎日を送っています。デイサービスに来て下さる皆様に楽しく笑顔いっぱいになっていただけるように努めていきます。今年は午年なので何事も「ウまくいく」と良いですね。 岩橋美由紀

七年ほど前に三重県から半田市に来ましたが、まだまだ半田市には知らない場所が沢山あります。りんりんは介護施設で働く夫の紹介からでした。今こうして働かせていただくことになり、とても良いご縁を感じております。 岡崎 詠子

以前は別のデイサービスで働いていました。まだまだ社会人2年目、未熟者ですのでりんりんでもたくさん学ぼうと思っております。よろしくお願ひします。今年成人式を迎えます。もつと大人になりたいです。 滝本ひかり

ひとこと

ケアマネジャー

利用者様のご自宅での生活をお手伝いさせていただいております。その延長でご家族の支援として介護者茶話会も行っております。昨年は、フラワーアレンジメント、リンパマッサージ、ネイルなどの企画をしました。私たちも一緒に参加させていただき、交流を深め、楽しい時間を過ごす事ができました。今年度も楽しい企画を計画しておりますので、是非たくさんの方のご参加をお待ちしております。 山田 康恵

サービス提供責任者

今年度になってから20～30代の若いヘルパーさん達が仲間入りしました。ときどき事務所に幼い子どもを連れてきます。泣いたり、おいしそうにおやつを食べたり愛らしいしぐさに職員の方が癒され元気をもらっています。

若いヘルパーさんから、私の母親世代のヘルパーさんまで、それぞれの持ち味を十分に発揮してりんりんの活動を盛り上げていけたらと気合を入れ頑張ります。 榊原 友恵

デイサービス花田

介護の仕事始めてから一年が経ちました。驚きと戸惑いで仕事をする中、職場のスタッフの優しさに支えられ、無事一年を過ごす事が出来ました。特に明治生まれの利用者さんと一緒に笑い過ごした経験は、私の中で特別な時間となりました。感謝とともに、今後も介護を通していい経験、いい時間を持てるように心掛けていきたいと思っております。

竹内 美佳

りんごクラブ

冬休みになると、りんごクラブからデイサービスの利用者さんに何か披露できるものはないか…と考える。縄跳びは三重跳びができる子がいるが、利用者さんに寒い外に出て見てもらうのは申し訳なく、コマ回しは、万が一コマが飛んで行って怪我をさせてはいけな、座っている利用者さんの視線が低いので披露するにはちょっと工夫がいる。けん玉は派手だが、一部の上達者だけがスポットを浴びることになるし。いつか子ども達と利用者さんを喜ばせたいです!

村上 明子